



社会福祉の増進と地域環境の保全に寄与することを目指して ～特定非営利活動法人ひびき～



特定非営利活動法人ひびき  
理事長 小林 真 氏

特定非営利活動法人ひびき  
長井市舟場9番18号  
Tel 0238-84-7656  
Fax 0238-84-7638

平成23年3月に「特定非営利活動法人ひびき」を創立しました。

NPOひびきのミッションは、地域住民に対して、児童の健全育成と高齢者、障がい者の福祉の向上、および森林の整備管理に関する事業を行い、もって社会福祉の増進と地域環境の保全に寄与することです。

平成25年11月に障がい児放課後等ディサービスPOCCO（ポコ）ながいを開所いたしました。西置賜地域で初めてのサービスで課題は沢山ありますが、子供たちの変化を実感したり保護者様からもあたたかいお言葉を頂いたり職員も活き活きと働かせていただいております。子供たちと関わりを通じ思うことがあ

ります。それは、子供たちの将来についてです。親は子供たちの将来まで見届けることは出来ません。そのようなことを思うと、次のサービスは就労支援ではないかと思うのです。子供た



—道の駅でお買い物—  
ポニー見学のあとは道の駅で休憩。みんな上手にお買い物できました。かき氷に、アイスクリーム、サンデー、極めつけは山形名物玉こんに！さすが地元の子供たちです。

ちの自立を見届けたとき初めて親は安心すると思います。これからも職員と共にがんばります。応援よろしくお願ひします。



—流しそうめん—  
施設の軒先で流しそうめんをしました。流れてきたのはそうめんだけでなく、トマトやオクラの野菜も！お兄さんたちが上でたくさん取るので、下で待ってる小さい子供たちは流れてこないとブーイング。みんなで外で食べるのは本当においしかったね。

村山葉山の高原野菜 ～神の恵みを受けたおおきな大根～



東北各県には「葉山」と名のつく山はいくつかありますが、その中で最も標高が高いのが「村山葉山（寒河江葉山）」です。

語源は「端山（はっこの山）」からきており、葉山信仰に支えられ、昔は出羽三山のひとつにも数えられた歴史もあります。寒河江市の市境にある葉山は標高1462メートル、山岳信仰の聖地でした。この聖なる山の中腹で葉山高原野菜が作られています。主

に作られている農作物は 大根、キャベツ、はくさい、にんじんなどの高原野菜。土がよい場所での有機栽培であることに加え、冬に大量に降った雪がミネラル豊富な地下水となって野菜の成長を促進させるとのこと。大根は2ヶ月程度で1本約7キログラム程度の大物に実り、にんじんは一般の約2倍のベータカロチンを含有するという、まさに「農業の神様」の恵みを受けた野菜が次々と育ちます。

「作った野菜はよ、野菜のほんとの味がでんの。ダイコンなんておでんにすると、汁吸ってふわふわ～としてね。うんとうまいんだね。『このダイコン食べてから下（ふもと）のは食わんねもんな』って他の

人さよく言われるもの」と、葉山高原野菜生産者。

その葉山で10月12日大根祭りが行われました。地元で採れた新鮮な農産物を扱う市内の販売業者「やまがたまるとおいしいもの市場」が企画。この日は約900平方メートルの畑に植えられた約2千本の大根を一人5本まで格安で持ち帰ることができる。午前10時の開始前から来場する人もいました。会場ではふるふき大根のほか地元食材をたっぷり使ったナメコ汁や芋煮が提供されました。今年は天候に恵まれ、例年よりもサイズが大きめで、甘みも増えているといえます。11月上旬まで収穫し、葉山市民近所で販売もしています。

# 角野栄子さん来店



平成26年10月3日(金)に、「魔女の宅急便」の原作者でおなじみの角野栄子さんが本店営業部にご来店されました。

角野栄子さんは、戦時中、長井市に学童疎開されていた経験があり、それ以降もたびたび長井市を訪れ、図書の寄贈や講演を行っている長井市にたいへん縁の深い作家です。

今回は10月4日に長井市制施行60周年の記念事業として行われるイベントのために長井市を訪問されました。その際に本店営業部にも足を運んでいただき、小さな図書館の前で記念撮影を行いました。

ちゅうおうしんくみは、ロビーでの待ち時間を楽しみ過ごしてもらい、地域の子どもたちに活字に親しんでもらおうと、3年前から全支店に角野栄子先生の図書コーナーを設置し、無料で貸出を行っています。皆様のご利用をお待ちしております。



本店営業部の小さな図書館

# 認知証サポーターって知ってますか？

認知証サポーターとは、認知証について正しく理解し、認知証の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。厚生労働省が推進する事業で、各地で開催される「認知症サポーター養成講座」を受講すると『オレンジリング』と呼ばれるオレンジ色のリストバンドをもらいます。オレンジリングは「認知証の人を応援します」というしるしです。

この認知症サポーター講座をちゅうおうしんくみの職員も受講し、55名が認知証サポーターとなりました(平成26年10月現在)。受講していない職員もこれから受講する予定で、全職員で認知証の人とその家族を温かく見守る予定です。



オレンジリング

## 新入職員コラム



平成26年4月7日入組  
本店営業部  
佐藤 あかり

はじめまして。新入職員の佐藤あかりです。暑かった夏も終わり、いっきに肌寒くなりました。日が暮れるのも早くなり、本格的に秋になったのを感じます。

つい最近までは、外を歩いていると至るところで金木犀の花の香りがしていました。毎年金木犀の香りが漂うと秋の訪れを感じます。花といえば、私にとって思い出深い花は「ジャカランダ」という花です。ジャカランダは薄紫色を

した高木に咲く花です。3年前の9月、語学留学の為オーストラリアにいった時、丁度ジャカランダが花盛りの時期でした。車で空港からホームステイ先に向かう途中、ジャカランダの並木道を通った時の甘い独特の香りを今も覚えています。9月のオーストラリアは初春でまだ寒かったのですが、ホームステイ先は暖房をつけずに、みんなは半袖を着て平気な顔で過ごしていました。私の寒がり様をゲラゲラ笑っていましたが、見かねてホストマザーが毛皮のコートを貸してくれました。

家の中でその毛皮のコートを着て過ごしていたのを思い出します。しかし結局、せっかく貸してもらったコートは頑張りも虚しく、あまりの寒さに行った早々に風邪をひいてしまったのですが…。今、日本は秋。季節が反対のオーストラリアは春です。季節は真逆ですが、毎年秋になり金木犀の花の香りがしてくると、ジャカランダの花とその時のことを懐かしく思い出します。

これからどんどん寒さを増し、インドア派の私は外に出るのが億劫になり家に引きこもりがちになりますが、今年の秋は積極的に外に出て山形の秋を堪能したいと思っています。みなさんも、秋晴れの空の下、スポーツを楽しんだり、紅葉を見に行くなど外に出て様々な秋に触れてみるのはどうでしょうか。週末は川原で芋煮会をするのも気持ちよさそうですね。

いつもご協力ありがとうございます。

## 古切手回収運動

合計 26.6 kg



古切手を回収し、国際協力NGOジョイセフ(財団法人家族計画国際協力財団)に送付する運動を行っています。1回で約1Kgを送付しており、22回で送付合計約26.6Kgを送りました(平成26年10月27日現在)。送付した古切手は2Kgで発展途上国の女性1人が助産師の立ち会いのもと安全に出産できます。しんくみ発行の古切手回収ポイントカードも継続中です。皆様のご協力をお待ちしております。

【回収の際のお願い】

- 1 消印の部分も収集の対象ですので消印を切り取らないでください。
- 2 日本の切手と外国の切手は分けてください。
- 3 未使用の切手と使用済の切手は分けてください。

平成24年1月まで発売し

ていた懸賞品付定期預金「地元の絆」がバージョンアップして復活。復活第一弾は米沢牛など置賜の美味しいものを揃えています。発売は平成27年1月31日まで。



好評発売中

